

成田ボ-リング阻止! ASPAC 太平洋  
密僚会議 粉碎!

6.15, 6.19 連続ストを準備せよ

1 昨日の全学連総決起集会の意義

昨日の全学連総決起集会は、諸国全洲西地区反戦連を事務局長とせしめて  
その活動の中心として教育界を生で五十の赤ヘルメットを先頭に果敢  
に斗いしんぶた。全学連運動は、その裏面にゆるる全学連連盟の下、市大  
に公然と姿をあらわした。パリ会議以降、明確に流転を開始した左翼運  
動は、日米一民書「ゴッホ」ンソン声明は「ヤマン」から「北人の人々を二  
の下で」への急激な下をけじめ、統一対立派の和平歓迎と、その  
以前の内ナチ公認戦一般のみしか言い得ないその分析の鋭利性とバクコ  
している。その中にある全学連と地区反戦に結集する部隊のみは、か  
から民権的教員連の自衛隊取り引きによる解決を排し、北ナチの暴を  
抵抗を支持しそれを保護する自由帝国主義に全面対決をきつる路線を精  
つていふのが明瞭にあらわした。五月三十日までの全学連運動の中で完全に放  
棄し、下野野臣の主張の急進的もしい統一全学連派は、全学連に  
完全に埋没しきつる路線から「十條神地震の力」を「カ」まで言い出し  
民権派、統一派に訣別し、反帝実力斗争部隊、全学連に結集せよ

2 全世界く民の斗いと結合せよ

十八日朝斗争の切り出した実力斗争の波は、ヨーロッパ全地に波及  
し、文中、中絶の中心とした学制改革から持論を固立法成立阻止  
斗争へ、そして現存革命の激揚を促している他の学生闘争の斗いにな  
つていふ。この一連の闘争の内なる斗争は、その矛盾の要因は帝国主  
義の矛盾である。その世界市場再分配戦への突入とその内なる再  
分配にある。その内なる斗争は、平和共済派の口  
は「その内なる斗争は、平和共済派の口  
家内取り引きの闘争と同様に、各帝国主義の实力斗争へ、個別の斗争  
に収められんとしていふ。我々は、この局面を打破する唯一のものとし  
て、これら一連の斗争を打ちぬかなければ、全学連の発展を待た、  
帝国主義心臓部における実力斗争と、後進国の帝国主義者に対決する民  
権派斗争、ケリ斗争の結合をせよ、その表現形態として、八  
日大戦インターの形をなすのである。

3 5/24 府学連続一行動 ↓ 6月連続ストへ

67年NATOの改定、10年安保へ向け之爆進しつゝある帝国主義諸国の  
抗争は、日本帝国主義者にとりて、既に第二段階に突入した。七月豪州で  
開催されるASEAN会議は、東南アジアにおける日帝の本帝からの経  
済的政治的ハゲネエの連環をとりきめる会議として日米均等の決定的  
役割を果すであろう。かかる重要性を持つASEANを断固実力粉碎する  
斗いを24日の府学ストをミステッスに、6.15, 6.19の連続ストで斗えよ。